

メッシュデータの活用による耕作放棄の地域的条件の分析 Analysis of regional conditions of cultivation abandonment by grid square statistics using GIS

森本 健弘^{1*}
Takehiro Morimoto^{1*}

¹ 筑波大学生命環境系
¹ Faculty of Life and Env. Sci., University of Tsukuba

わが国では近年も耕作放棄の増大が続いている。本報告は世界農林業センサスをもとに、耕作放棄の分布とその変化の小地域単位での地図化を試み、さらに、他の地域特性との対応関係を検証する。この目的に農業統計の最小地域単位である農業集落とそれを組み替えて作成した3次メッシュデータを用いる。他のメッシュ統計と対応させた分析、現実の農地分布に近い分布図の作成、および経年的な単位地域変動がないことによる時間的変化の検討の容易さを活かそうとするものである。具体的には、農林業センサスの農業集落データからメッシュデータを作成して耕作放棄地率の分布を求め、地形条件、人口条件、農業経営条件との対応関係を検討した。事例とした群馬県では傾斜や作物の要素が耕作放棄地率と相関関係を有していた。その他、平坦地では人口密度と耕作放棄地率の間に弱い相関があることなどが確認できた。GIS活用によって可能になったメッシュデータ化は農林業データを用いた地域分析の幅を広げるであろう。

キーワード: 耕作放棄, メッシュデータ, 農村の環境, 地理情報システム, 耕地
Keywords: cultivation abandonment, grid square statistics, rural environment, GIS, cultivated land